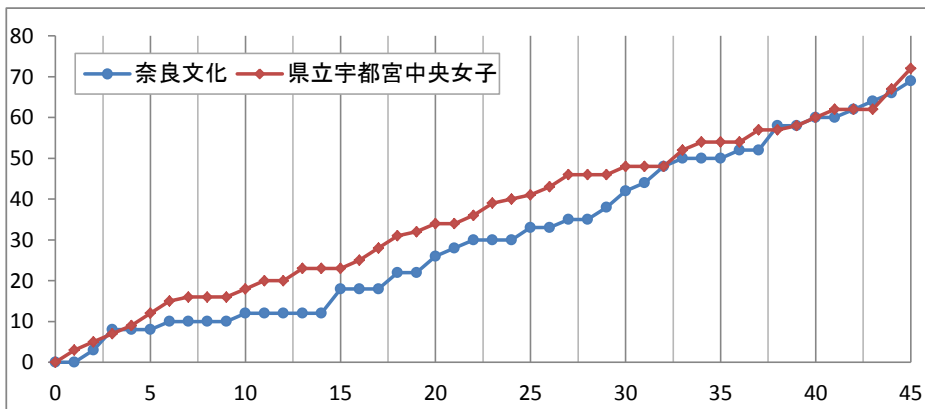


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 1回戦 **奈良文化 69** **72** 県立宇都宮中央女子
 (奈良) ● ○ (栃木)

主審 有澤 重行
 副審 隈元 ゆみこ

No. 2911 日時: 2013年7月29日(月) 9:30 会場: 大分県立中津南高等学校



奈良文化

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	河井 真紀	-	-	-	-	-
5	千々岩 有加	-	-	-	-	-
6	鈴木 日香梨	-	-	-	-	-
7	* 横澤 純子 (C)	27	5	5	2	4
8	* 灘本 夏綺	23	1	8	4	3
9	岡田 紗英	2	0	1	0	1
10	* 濱田 奈穂	5	1	1	0	1
11	* 松田 帆花	8	0	4	0	4
12	* 金崎 真衣	2	0	0	2	3
13	酒元 玲奈	-	-	-	-	-
14	立石 有穂	-	-	-	-	-
15	江草 晶帆	2	0	1	0	1
コーチ	川崎 弘策					
合計		69	7	20	8	17

県立宇都宮中央女子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 百瀬 優 (C)	27	7	2	2	1
5	* 五十嵐 晴花	0	0	0	0	1
6	吉田 由美	8	0	3	2	1
7	* 大橋 瑛利佳	4	0	2	0	2
8	* 常盤 礼香	31	3	10	2	4
9	緑川 亜紀	-	-	-	-	-
10	佐藤 朱	-	-	-	-	-
11	森山 菜奈	0	0	0	0	1
12	* 松本 美紀	2	0	1	0	2
13	鈴木 優美	-	-	-	-	-
14	丸山 藍里	-	-	-	-	-
15	阿久津 杏	-	-	-	-	-
コーチ	福田 和 男					
合計		72	10	18	6	12

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオドお互いにハーフコートマンツースタイルで始まる。宇都宮#4の3P#8のスピードのあるドライブで得点すれば奈良も#7、#10の3Pで流れを渡さない。4分間一進一退の攻防が続くが、宇都宮#8のドライブ、#4の3Pで残り3分には、10-16と流れがつかみかかる。奈良はタイムアウトを取り、流れを変えようとするがお互い3分間得点がとれず12-18宇都宮6点リードで終了。第2ピリオド奈良は宇都宮の激しいディフェンスを攻めあげ、残り6分で12-23と得点が開く。ここで宇都宮、流れを完全につかもうとオールコートにディフェンスを広げるが奈良もゾーンに変え流れを引き寄せようとする。奈良#7の連続3Pで追い上げを図るが、宇都宮も#8と#4の得点でお互いに得点を重ね26-34宇都宮8点リードで前半終了。第3ピリオドお互いハーフコートマンツースタイルに戻して始まる。宇都宮は#4、#6のドライブでファウルをもらいフリースローで引き離しにかかる。残り7分30-39宇都宮9点リードで、奈良はタイムアウトを取り、ディフェンスをゾーンに変え、徐々に宇都宮の得点の流れを止めていき、42-48の宇都宮6点リードで終了する。第4ピリオドお互いに得点を重ね、残り3分57-52で宇都宮リードの場面で奈良はオールコートのゾーンプレスを仕掛ける。スティールから#7、#8のジャンプシュートやドライブで追いつき、残り1分で逆転する。しかし、宇都宮も#8のドライブで得点し、お互い譲らず60-60で終了する。延長は、奈良はインサイドにボールを入れ#8のリング下、ジャンプシュートなどで主導権を握っていく。残り1分41秒、奈良66-62の場面で宇都宮#4の3Pが決まり奈良に傾きかけた流れを食い止める。奈良#7の3Pで再び流れを持っていこうとするが宇都宮#8の3P、ドライブでの連続得点で宇都宮が3点差で逆転し勝利した。お互いに譲らず激しいディフェンスを行い、最後まであきらめない素晴らしい試合だった。

© 2013 大分県バスケットボール協会 板井 淳 (所属) 大分県バスケットボール協会